

平成29年度 学校評価書

土佐清水市立清水小学校
 学校長 筒井 広実 印

1. 学校教育目標

『鍛える』 ～心豊かでたくましい子どもの育成～

2. 本校の現状

本年度は、高知県教育委員会教育課程（算数科）拠点校事業（平成28・29・30年度の3年間）の2年目にあたり、昨年度までの実践の継承と改善を行っている。具体的には、深い学びにつながる対話と振り返りを重視し児童が主体的・協働的に学び『確かな学力』が身につけられるように取り組んでいる。さらに、日常生活でも対話や振り返りを重視し、主体的かつ協働的に活動していくことで、道徳的判断力の育成にも資するものであり『豊かな心』の育成も目指している。

日々教師の生命線である『授業』実践の中で「ねらいの明確化に加え、適用問題と算数日記を行い、算数活動の工夫、少人数指導における工夫と改善」等を実施し、対話と振り返りを重視した授業づくりに取り組むとともに、基礎学力の定着と学力の向上、基本的生活習慣の確立を目指して取り組んできた。また、教師の育成として年次研修、校務分掌の配置などを工夫することでOJTによる研究、研修等も行ってきた。

学年末の学校評価から、児童が授業に望む姿勢として、「授業がよくわかる」「授業が楽しい」「学校が楽しい」「学級が楽しい」という児童の割合が高くなってきている。このことは、わかる授業を目指して取り組んできたこれまでの成果が現れてきているものと考ええる。

3. 本年度の評価項目

〔1〕学力向上

- ①組織的な校内研修体制づくり
- ②授業改善に向けた取組（わかる授業づくり）
- ③家庭学習の定着に向けた取組

〔2〕生徒指導

- ①基本的生活習慣の確立と定着
- ②学び合い、共に伸びようとする仲間づくり
- ③校内支援会の取組（支援を必要とする児童・家庭の支援）

〔3〕学校・家庭・地域の連携

- ①家庭生活等についての保護者との連携
- ②守る会・スクールガードリーダー等との連携、登下校時の児童の安全確保
- ③学校を開き積極的な情報発信

〔4〕特別支援教育

- ①特別支援教育の推進
- ②個に応じた支援体制の確立と推進
- ③関係機関との連携

〔5〕健康・安全

- ①健康づくり
- ②児童をとりまく教育環境整備
- ③安全教育の推進

4. 自己評価

評価項目		評価指標	取組状況・成果	評価	次年度の方策
大	中				
学力向上	①組織的な校内研修体制づくり	・3部会での研究推進 ・教科経営計画の作成 ・授業改善に向けた取組	○深い学び部会、確かな学力部会、豊かな心部会の3部会を設け、研究主任を中心に各部会の部長が計画を立て研究推進を図った。 ○教育課程をふまえた学校経営計画や算数科の教科経営計画の作成が継続してできた。 ○深い学びにつながる対話と振り返りを重視した授業づくりの取組を行い、授業のパターン化ができた。	3.8	・これまでの取組を検証し、来年度も計画的に取り組む。 ・学校経営計画や算数科の教科経営計画の見直しを図り充実させる。 ・教育課程拠点校としての役割を明確にし、研究を推進しながら、研究発表を行う。

「1」学力向上	②授業改善に向けた取組（わかる授業づくり）	- 算数科の研究授業、公開授業 - 中間発表会の開催 - 公開校内研修会の実施 - 授業力チェックシートの実施 - 指導方法工夫改善 - 個別の学習支援	○講師を招聘しての授業研究ができた。 ○中間発表会を開催し、深い学びにつながる対話と振り返りを重視した授業づくりについて検証できた。 ○研究授業等で、授業力チェックシートを取入れ授業改善を図った。 ○授業力チェックシートの結果、児童、教師それぞれの平均をとってみると、児童、教師共に向上が見られた。 ○少人数指導で習熟度別の授業等に取り組み、児童の意欲向上につながった。（5,6年） ○支援が必要な児童は、支援策を個別に立て行った。	3.6	3.3	- 研究発表会等を行い、研究の成果を広く普及し、推進校としての役割を果たす。 - 引続き、OJTによる研究推進をはかり、教職員の育成に努める。 - 学び合う活動を重視した授業づくりを充実発展させ、学力向上を図っていくための研修会を行う。 - 授業評価システムの効果的な運用と改善を行う。 - 算数科で少人数指導に取り組み、個々の児童に応じた指導を行う。 - 引続き、支援策を個別に立て取組む。
	③予習・復習の質と量を高める取組	予習と復習の割合を3：7にする	教育計画に基づいた、宿題内容の共通理解に取り組み行った。しかし、予習は計画通りにならなかった。	2.7		予習と復習の割合を3：7にする内容の検討を行う。
	④家庭学習の定着に向けた取組	家庭学習の内容工夫	○月毎に家庭学習、自主学習の報告を行い、効果的な学習方法等を紹介し充実を図った。	3.2		- 効果的な家庭学習、自主学習を研究し、自校独自の取組みを進める。 - 学習の手引きの奨励と活用の仕方を徹底する。
「2」生徒指導	①基本的生活習慣の確立	生活いきいきカードの活用	○生活いきいきカードを年3回行い、その結果をもとに児童を評価して意欲を持たせ、保護者に知らせ啓発に努めた。 ○ポイントの高い児童の評価を行い、表彰した。	3.4	3.4	- 生活を振り返り、改善が図れる取組を進めると共に家庭への啓発を行う。 - 生活改善について考える機会を学年、学級で設け継続して行う。
	②共に伸びようとする仲間づくり	- 縦割り班の活動 - 豊かな心の参観日の実施	○掃除、ふれあいランチタイム、ふれあいレク、遠足等で活動し1～6年生の交流ができた。 ○道徳、人権教育参観日を実施した。 ○Q-Uテストの結果をもとにクラスの実態に応じて対応した。	3.4		「学力向上と豊かな心」の共通認識を持って取組む。 - 縦割り班活動や異学交流を進めて行く。 - 人権教育を深め、エンカウンターを活かした学級経営を行う。
	③校内支援会の取組	- 不登校や不登校傾向等、課題のある児童への積極的な支援 - 学習支援が必要な児童への対応	○個別の支援策を立て、関係機関と連携して取組んだ。 ○支援を必要とする児童へ適宜対応した。 ○加力指導に可能な限り取組んだ。	3.4		- 虐待やネグレクト等、児童への支援体制を確立する。 - 不登校・不登校傾向の児童への支援について方策を立てる。 - 校内支援会の充実と共有を図る。
「3」学校・家庭・地域の連携	①保幼小、小中の円滑な接続の推進	- 保幼小連絡会の実施 - 小中連絡会の実施	○保幼小連絡会を実施（5月、2月）し、児童理解の深まりと円滑に学校習慣等に馴染むようになった。また、1日体験入学を行い入学への心構えができた。 ○小中連絡協議会（年3回）と6年生交流会（年2回）を実施し、教員の共通認識理解や児童が不安なく中学へ進学できるようになった。	3.3	3.2	- 引き続き取組を行う。 - 各校種の理解を深め、保幼小中のそれぞれの立場で園児や児童の共通認識理解に活かせるように努める。
	②家庭生活等についての保護者との連携	- 生活改善と学力向上を一体ととらえた取組 - 安全な遊びの指導 - 保護者のPTA活動への積極的な参加 - 地域との連携推進	○学年、学級通信、保健便り等で、児童の生活習慣確立について啓発を行った。 ○校舎内での遊びも含め、安全な生活を送られるように環境整備の改善を図った。 ○各PTA研修会や研究大会へ参加を促した。	3		- 引き続き、取組を行う。 - 安全に遊べる環境づくりに努める。 - PTA活動の見直しと工夫を行う。 - PTA行事へ多くの保護者が参加し、積極的なPTA活動が行われるように啓発等を行う。
	③守る会等との連携	- 挨拶運動の取組 - 登下校時の安全確保	○学校や地域での挨拶を積極的に行った。 ○スクールガードリーダーとの連携による登下校時の児童の安全に努めた。 ○社会見学等で、地域の方たちに協	3.2		- 積極的に挨拶できるように啓発活動を行う。 - 地域の方々と密に連絡を取り合い、児童を取り巻く環境改善に努める。 - 防災に関する連携を図る。
	④学校を開き積極的に情報発信を行う	学校の様子や取組を理解してもらうため、ホームページの作成、学校便り、学年、学級通信等の発行	○学校の取組が明確になるよう校長室だよりを週1回、学校便りを月1回発行した。 ○学年、学級通信で学級の様子を積極的に知らせた。 ○ホームページを活用し、情報を積極的に発信した。	3.4		- 引続き、積極的に情報発信をする。 - PTA行事・参観日の懇談への参加の呼びかけと保護者との懇談を充実させる。 - 清水小安全メールの全家庭登録を促す。

④ 特別支援教育	①特別支援教育の推進	・交流学習の実施と児童理解 ・個のニーズにあった教育の実施 ・関係機関と連携し、個のニーズに応じた支援	○支援学級の公開授業を積極的に行った。 ○支援学級と交流学級の児童の交流を持った。	3.2	3.3	・専門的な講師を招聘し研修を深める。 ・特別支援教育の推進を図り、特別支援学級と交流学級の児童の交流を積極的に行い理解に努める。
	②個に応じた支援体制の確立	・個別の指導計画及び支援計画の立案	○個別の指導計画を立て、それぞれ必要な支援を行った。 ○全児童について、指導計画を立て取組んだ。	3.2		・個別の指導計画・支援計画を立て支援を行い、全児童を対象に校内研修や職員会で教職員の共通理解を図る。 ・個別の指導計画にもとづく支援計画を、全児童について作成し実践する。
	③関係機関との連携	・療育相談等での連携	○必要に応じ療育相談、巡回相談を受け、児童の指導・支援の充実を図った。	3.4		・関係機関と連携し、指導や支援の充実を図る。 ・講師招聘し校内研修を行う。
⑤ 健康・安全	①健康づくり	・生活いきいきカードの実施	○生活いきいきカードの取組を実施することにより、児童、保護者の意識改革ができてきた。 ○豊かな心部会を中心に生活の見直しを行い、啓発に努めた。	3.2	3.4	・点検項目を吟味しながら引き続き取組を行う。 ・基本的な生活習慣の定着と家庭への啓発を推進する。(個別指導の設定)
	②児童をとりまく教育環境整備	・遊具の点検修理等	○PTA環境部(3年生の保護者)による「アンケート」実施により、教育環境等の改善に取組んだ。 ○定期的な校内外の点検を実施した。	3.5		・環境・安全等について、PTA活動(環境部)の一つに位置づける。 ・校内外安全点検の目標項目を設定をし、2ヶ月に1回点検活動する。
	③安全教育の推進	・避難訓練等の実施	○避難経路等、緊急事態を想定した避難訓練を8回(火災含)実施した。 ○PTAと連携をとりながら、防災に対する危機意識を高めてきた。	3.4		・安全教育の見直しを図り、防災意識の向上を目指した防災教育を家庭、地域と連携しながら推進する。 ・避難訓練を継続して実施する。(引渡訓練の実施)

4段階評価(4 目標を十分に達成、 3 ほぼ目標を達成、 2 やや不十分、 1 改善を要する)

5. 学校関係者評価

アンケートをとった9項目について、ほとんどの項目で80%以上の満足群の回答を得られたが、「学校生活(目標)」と「教職員へ相談(児童)」の2項目については満足群が55%にとどまり改善が必要とされる。また、自由記述には、特性を持った児童への対応等のご意見をいただいた。

学校評価アンケート（児童用）

清水小学校 児童

平成29年 12月実施

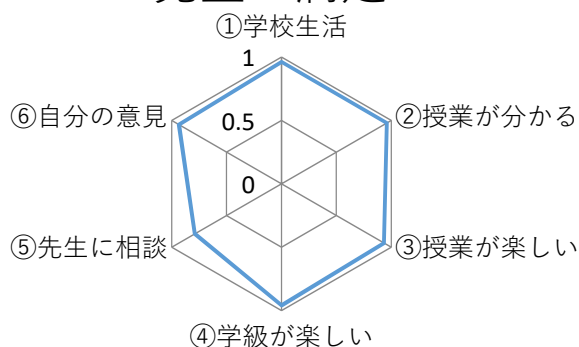
対象数	回収数	回収率
284	281	98.9%

		1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない
(1) あなたは学校生活が楽しいですか	人数	213	57	10	1
	%	75.8%	20.3%	3.6%	0.4%
(2) あなたは授業がよくわかりますか（全教科）	人数	165	101	15	0
	%	58.7%	35.9%	5.3%	0.0%
(3) あなたは授業が楽しいですか（算数）	人数	191	68	17	5
	%	68.0%	24.2%	6.0%	1.8%
(4) あなたは自分の学級が楽しいですか	人数	221	49	8	2
	%	78.6%	17.4%	2.8%	0.7%
(5) あなたは悩みや困ったことについて気軽に先生に相談できますか	人数	150	76	40	23
	%	53.4%	27.0%	14.2%	8.2%
(6) 学校や先生はあなたたちの意見や希望を聞いてくれますか	人数	215	47	12	7
	%	76.5%	16.7%	4.3%	2.5%

次の項目の内、これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか（3つ選択）

①わかりやすい授業をする	85
	30.2%
②将来の夢や希望を考える時間をとる	70
	24.9%
③子どもたちが中心となって計画できる学校行事をふやす	129
	45.9%
④学校でのルールやきまりを守ることを指導する	70
	24.9%
⑤いじめや暴力をなくす	161
	57.3%
⑥自分やともだちを大切にしたり、みんなのために役立ったりすることについて、考えたり話し合ったりする学習に力を入れる	65
	23.1%
⑦学校に来られない友だちや来にくい友だちへの家庭訪問や声がけをする	58
	20.6%
⑧あやしい人が入って来たときや地震のときの安全対策をしっかりする	122
	43.4%
⑨学校の先生以外の人にも授業をしてもらったり、保護者や地域の方とひとしよに学校のことについて話し合ったりできるようにする	83
	29.5%

児童の満足



児童	満足度
①学校生活	96%
②授業が分かる	95%
③授業が楽しい	92%
④学級が楽しい	96%
⑤先生に相談	80%
⑥自分の意見	93%

学校評価アンケート（保護者用）

清水小学校 保護者

平成29年 12月実施

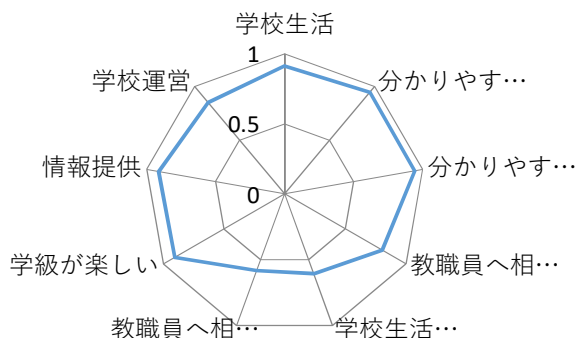
対象数	回収数	回収率
284	273	96.1%

		1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない
(1) お子さんは学校生活に満足していますか	人数	138	118	16	1
	%	50.5%	43.2%	5.9%	0.4%
(2) 先生はわかりやすい授業につとめていると思いますか（全教科）	人数	136	123	13	0
	%	49.8%	45.1%	4.8%	0.0%
(3) 先生はわかりやすい授業につとめていると思いますか（算数科）	人数	139	118	15	0
	%	50.9%	43.2%	5.5%	0.0%
(4) あなたは悩みや困ったことについて教職員に気軽に相談できますか	人数	102	104	57	11
	%	37.4%	38.1%	20.9%	4.0%
(5) お子さんは目標を持って学校生活を送っていると思いますか	人数	61	127	77	8
	%	22.3%	46.5%	28.2%	2.9%
(6) お子さんは悩みや困ったことについて教職員に気軽に相談していると思いますか	人数	55	106	89	22
	%	20.1%	38.8%	32.6%	8.1%
(7) 子どもたちは自分たちの学級を楽しんでいると思いますか	人数	141	110	15	7
	%	51.6%	40.3%	5.5%	2.6%
(8) 学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか	人数	141	99	28	6
	%	51.6%	36.3%	10.3%	2.2%
(9) 学校は、子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか	人数	87	144	31	5
	%	31.9%	52.7%	11.4%	1.8%

次の項目の内、これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか（3つ選択）

①わかりやすい授業をする	154
	56.4%
②将来のことについて考える機会を設ける	117
	42.9%
③教員の資質・指導力を向上させる	68
	24.9%
④学校行事を充実させる	16
	5.9%
⑤社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる	151
	55.3%
⑥いじめや暴力行為を根絶する	129
	47.3%
⑦道徳教育や人権教育に力を入れる	56
	20.5%
⑧不登校の子どもたちへの支援に力を入れる	14
	5.1%
⑨不審者対策や防災対策など安全対策をしっかりとる	88
	32.2%
⑩開かれた学校づくりを進める	16
	5.9%
⑪その他 ・ふるさと教育の充実 ・学習面等でこぼれている児童の支援 ・地域との関わりを深める教育の推進 ・給食の実施	3
	1.1%

保護者の満足度



保護者	満足度
学校生活	94%
分かりやすい授業（全教科）	95%
分かりやすい授業（算数）	94%
教職員へ相談（保護者）	75%
学校生活（目標）	61%
教職員へ相談（児童）	59%
学級が楽しい	92%
情報提供	88%
学校運営	85%

学校評価アンケート（地域、関係機関用）

清水小学校 守る会

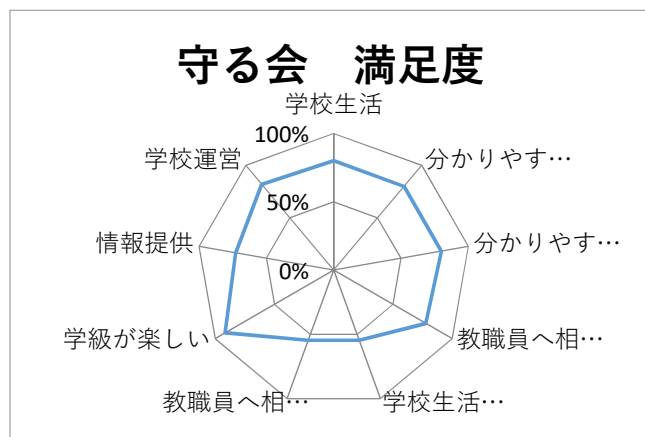
平成29年 12月実施

対象数	回収数	回収率
19	12	63.2%

		1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない
(1) 子どもたちは学校生活に満足していますか	人数	5	3	1	1
	%	50.0%	30.0%	10.0%	10.0%
(2) 先生はわかりやすい授業につとめていると思いますか（全教科）	人数	4	4	1	1
	%	40.0%	40.0%	10.0%	10.0%
(3) 先生はわかりやすい授業につとめていると思いますか（算数科）	人数	5	3	1	1
	%	50.0%	30.0%	10.0%	10.0%
(4) あなたは悩みや困ったことについて教職員に気軽に相談できますか？	人数	3	4	1	1
	%	33.3%	44.4%	11.1%	11.1%
(5) お子さんは目標を持って学校生活を送っていると思いますか	人数	1	5	5	0
	%	9.1%	45.5%	45.5%	0.0%
(6) お子さんは悩みや困ったことについて教職員に気軽に相談していると思いますか	人数	2	4	5	0
	%	18.2%	36.4%	45.5%	0.0%
(7) 子どもたちは自分たちの学級を楽しいと感じていると思いますか	人数	5	6	0	1
	%	41.7%	50.0%	0.0%	8.3%
(8) 学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか	人数	3	5	2	1
	%	27.3%	45.5%	18.2%	9.1%
(9) 学校は、子どもたちや保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか	人数	3	6	1	1
	%	27.3%	54.5%	9.1%	9.1%

次の項目の内、これから特に学校に力を入れてほしいことは何ですか（3つ選択）

①わかりやすい授業をする	6
	85.7%
②将来のことについて考える機会を設ける	3
	42.9%
③教員の資質・指導力を向上させる	7
	100.0%
④学校行事を充実させる	1
	14.3%
⑤社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる	5
	71.4%
⑥いじめや暴力行為を根絶する	5
	71.4%
⑦道徳教育や人権教育に力を入れる	2
	28.6%
⑧不登校の子どもたちへの支援に力を入れる	2
	28.6%
⑨不審者対策や防災対策など安全対策をしっかりとる	3
	42.9%
⑩開かれた学校づくりを進める	0
	0.0%



守る会	満足度
学校生活	80%
分かりやすい授業（全教科）	80%
分かりやすい授業（算数）	80%
教職員へ相談（保護者）	78%
学校生活（目標）	55%
教職員へ相談（児童）	55%
学級が楽しい	92%
情報提供	73%
学校運営	82%

学校評価アンケート（教職員用）

清水小学校 教職員

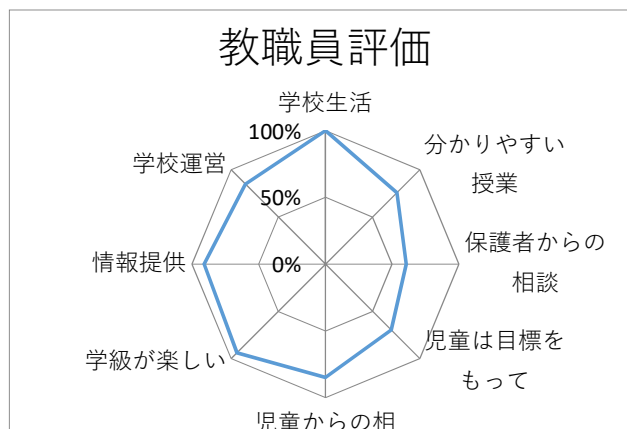
対象数	回収数	回収率
33	33	100.0%

平成29年 12月実施

		1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 思わない
(1) 子どもたちは学校生活に満足していると思いますか	人数	2	31	0	0
	%	6.1%	93.9%	0.0%	0.0%
(2) あなたはわかりやすい授業につとめていますか	人数	9	16	2	0
	%	27.3%	48.5%	6.1%	0.0%
(3) 保護者は悩みや困ったことについて教職員に気軽に相談していると思いますか	人数	3	17	10	0
	%	9.1%	51.5%	30.3%	0.0%
(4) 子どもたちは目標を持って学校生活を送っていると思いますか	人数	2	21	9	0
	%	6.1%	63.6%	27.3%	0.0%
(5) 子どもたちは悩みや困ったことについて教職員に気軽に相談していると思いますか	人数	5	23	5	0
	%	15.2%	69.7%	15.2%	0.0%
(6) 子どもたちは自分たちの学級を楽しんでいると思いますか	人数	2	29	2	0
	%	6.1%	87.9%	6.1%	0.0%
(7) 学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか	人数	14	16	1	0
	%	42.4%	48.5%	3.0%	0.0%
(8) 学校は、子どもたちや保護者、地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか	人数	12	16	2	1
	%	36.4%	48.5%	6.1%	3.0%

次の項目の内、これから特に学校が力を入れなくてはならないことは何ですか。3つ選択して下さい

①わかりやすい授業をする	18
	54.5%
②将来のことについて考える機会を設ける	7
	21.2%
③教員の資質・指導力を向上させる	17
	51.5%
④学校行事を充実させる	1
	3.0%
⑤社会のルールやきまりを守る指導に力を入れる	24
	72.7%
⑥いじめや暴力行為を根絶する	3
	9.1%
⑦道徳教育や人権教育に力を入れる	13
	39.4%
⑧不登校の子どもたちへの支援に力を入れる	4
	12.1%
⑨不審者対策や防災対策など安全対策をしっかりする	10
	30.3%
⑩開かれた学校づくりを進める	1
	3.0%



教職員評価

学校生活	100%
分かりやすい授業	76%
保護者からの相談	61%
児童は目標をもって	70%
児童からの相談	85%
学級が楽しい	94%
情報提供	91%
学校運営	85%